

2021年10月9-11日 下ノ廊下

メンバー：岩田

会社が一週間休みになるタイミングを利用して、紅葉を期待して、下ノ廊下へ行きました。下の廊下は一步間違えると川底まで滑落する危険なルートということで、積極的にメンバーを誘わず、単独行となりました。残念ながらまだ紅葉には早かったですが、黒部川の深いブルーの流れと多くの登山者に触れられた山行でした。

～1日目～ 黒部ダム→ロジックろよん

単独行ということで、車の回送は行わず、自宅からJRを利用して信濃大町、バスで扇沢のルートを選ぶ。(本当は電車好きだからですが)扇沢→黒部ダムのトロリーバス改め電気バスは初めて乗りました。最新の電気バスのはずですが、何となくレトロなイメージ。カラーリングのせいかな？ダムから見上げる標高の高い立山方面は紅葉しているが、ダム付近(1500m付近)はまだまだの状況。黒部ダムで昼食を食べ、ロジックろよんまで一瞬で到着。テン場の受付は15:00からということで、先にいい場所にテントを張って、のんびりする。その後、テン場には登山者が続々と来場し、とても混雑した。

距離感が近いため、夕食は付近のテントの方々と一緒にいただきました。

夜、ダム湖畔まで星の写真を撮るために行こうと思っていたが、何となく感じる獣の雰囲気にしり込みし、ロジックの前で星を見る。周りで何かごそごそ音がしていた。

～2日目～ ロジックろよん→阿曾原温泉

人が多いため、早めに立つという方の言葉を受けて、4:30出発とする。マラソンでいうと二番手集団につける。(みんな同じルートなのでレースっぽい。)

黒部ダムを越えて歩くうちに日の出。下ノ廊下らしく左側に常に番線あり。左手のみ革の手袋をして番線を常に触りながら進む。

黒部川はブルーな水をたたえて流れ、左右から沢(ほぼ滝)が次々と合流し徐々に水量を増していく。途中、十字峡、S字峡を過ぎ、仙人ダムへ。トンネルの中が高温高湿で高熱隧道を実感。そのあと、もうすぐ阿曾原温泉と思っているとなんと約100mの急な登りが。気が抜けていたところで体力の限界、休憩しながら登る。

やっと阿曾原温泉に到着、13:00。まだ登山者は少なく、上流からの登山者は2組のみ。ただし、1番の登山者はそのまま櫛平へ向かった模様。早い。

その後、仙人ダムに近い雲切新道で滑落事故があったようで、改めて、黒部の谷が険しいことを認識。小屋も少しバタバタしていた。

テントを張って、落ち着いたところで温泉を頂く。まだ時間が早いため、入浴者は数人。その後の男性時間はイモ洗い状態だった模様。

夜はビールを飲みながら、登山者と語り。今日も快晴のため、星の写真を撮って就寝。

～3日目～ 阿曾原温泉→櫛平

この日も時間を前倒し、4:30出発。登山道沿いに「オオカミのおしっこ」の袋が吊ってある。熊対策か。(前日仙人ダム付近で熊の目撃があった模様)

その後、下ノ廊下の特徴、水平歩道を歩く。崩れそうな道あり、トンネルあり、堰堤の中を通るところありで楽しめる。

9:00に櫛平着。早すぎ。まだ温泉や食堂が開いていないため、始発のトロッコ列車で下る。今回のお楽しみの一つ、黒部峡谷鉄道。オープンスペースで、人も少なく、コロナ問題なし。1時

間余りとても楽しめた。その後、宇奈月温泉で入浴し、気になる3日分の汗とにおいを落としその後の富山地方電鉄、北陸新幹線も堪能。たまには電車での山行もいいなあ。

【コースタイム】

1 日目	
黒部ダム	12:50
ロジックろよん	13:05

2 日目	
ロジックろよん	4:30
黒部ダム	4:50
別山谷出合	7:45
十字峡	9:25
仙人ダム	11:30
阿曾原温泉小屋	13:00

3 日目	
阿曾原温泉小屋	4:30
折尾谷	6:00
志合谷	7:15
水平歩道終点	8:30
樺平駅	9:00

1 日目 立山の紅葉

2 日目 十字峡



2 日目 S字峡

2 日目 阿曾原温泉の開放的な湯舟



2 日目 阿曾原温泉小屋とテント場夜景



3日目 水平歩道 よく作ったな



3日目 水平歩道 どこまでも続く



お約束の星の写真 登る秋から冬の星座

